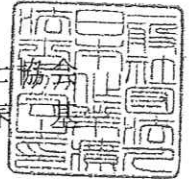


日作協発 499号
2019年3月4日

厚生労働省 医政局 医事課
試験免許室 御中

一般社団法人 日本作業療法士協会
会長 中村 春



第54回作業療法士国家試験問題について（意見）

謹啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃より当協会の活動にご支援ご協力を賜り深く感謝申し上げます。

さて、2月24日に実施されました第54回作業療法士国家試験問題につきまして全国の作業療法士学校養成施設に問題の妥当性についてアンケート調査を実施しましたところ、196校(208課程)中124校(63%)から「適切でないと思われる」とする回答がありましたので、それらの回答について次の3つの方針に基づいて検討を行いました。

- (1) 全国の作業療法士学校養成施設から寄せられた「国家試験として適切でないと思われる問題」のみを検討の対象とすること。
- (2) 当協会担当部署においてさらに検討を重ね、「国家試験として適切でないと思われる問題」に限定して意見を具申すること。
- (3) 国家試験問題の範囲や難易度についての意見を具申するものではないこと。

その結果、設問内容の適切さ及び出題形式(図や設問の説明)について下記の意見を述べさせていただきます。また、特に検討していただきたい7つの問題(午前4問題、午後3問題)につきましては、別紙に内容を記載し、併せて具体的な理由を付記いたしました。

ご検討の程よろしくお願い申し上げます。

謹 白

記

- I 複数の解が選択できると思われる4問題(午前11・56・73・93)について、複数の選択肢を正解とすることが望ましいと考える。また、提示された選択肢からは解を選択する判断ができないと思われる3問題(午後68・73・99)について、採点から除外することが望ましいと考える(別添資料1-1~1-7参照)。
- II その他の意見
用語や設問の表現が不適切であり選択肢の理解に戸惑う3問題(午前58、午後23・83)、消去法や優先順位等から解は選べるものの該当すると言い切れない1問題(午後17)、消去法や優先順位等から解は選べるものの他の選択肢も該当する可能性がある2問題(午前9、午後5)があると考え。

第 54 回作業療法士国家試験問題 採点除外等の取り扱いをすることが望ましいと思われる問題

(平成 31 年 2 月 24 日実施)

午前 問題	問題番号 (11)
<p>11 30歳の男性。アテトーゼ型脳性麻痺。頸椎症性脊髄症を発症し、歩行不能となった。電動車椅子を導入し、練習開始後 2 週で施設内自走が可能となったが、壁への衝突等があるために見守りが必要である。</p> <p>上肢操作向上を目的とした作業療法で適切なのはどれか。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 貼り絵をする。2. 木工で鋸を使う。3. ドミノを並べる。4. 版画で彫刻刀を使う。5. 革細工でスタンピングをする。 <p>解：1、3 (複数の解が選択できる)</p>	
<p>理由</p> <p>本症例は、アテトーゼ型脳性麻痺であり、疾患の特徴として不随意運動がある。そのため、危険性から選択肢「2」、「4」、「5」は誤っている。文献1によれば、アテトーゼ型脳性麻痺の上肢の操作性向上を目的とした作業療法は、目と手の協調性を促すこと、把持能力を促すこととあり選択肢「1」、「3」は適切とされる。ただし、この設問情報からでは、不随意運動の程度やドミノの大きさなどの作業環境が判断できず、作業の設定によってはどちらも解となる。</p> <p>解：選択肢「1」と「3」の複数の解が選択できる。</p>	
<p>参考とする文献</p> <ol style="list-style-type: none">1. 上杉雅之監修：イラストでわかる発達障害の作業療法. 医歯薬出版株式会社. pp134～135, 2016.2. 長崎重信監修：作業療法ゴールド・マスター・テキスト7 発達障害作業療法学. p111, 2011.	

第 54 回作業療法士国家試験問題 採点除外等の取り扱いをすることが望ましいと思われる問題

(平成 31 年 2 月 24 日実施)

午前 問題	問題番号 (56)
<p>56 呼吸器で正しいのはどれか。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 鼻前庭は粘膜で覆われている。2. 気管は第4胸椎の高さから始まる。3. 上気道は鼻腔から咽頭までをいう。4. 右主気管支は左主気管支よりも細い。5. 気管支の分岐角は右より左が大きい。 <p>解：1、4、5（複数の解が選択できる）</p>	
<p>理由</p> <p>問題文には1つ選べとあるが、正答は選択肢「1」「4」と「5」である。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 文献4より、鼻前庭、呼吸部および嗅部は粘膜であるより、選択肢「1」は正しい。 文献1より外鼻腔から1～2cm奥までの部位は鼻前庭と呼ばれ、皮膚で覆われ、鼻毛が生えて空気の濾過装置をなしているより、選択肢「1」は誤ってる。2. 文献5より気管頸部は第6頸椎から第7頸椎の高さにあり、気管胸部はより長く第1胸椎から第4胸椎までの高さにあるより、選択肢「2」は誤っている。 気管は長さ約10cm、太さ約2cmで、食道の前方にあり、脊柱の第6頸椎から始まり第4胸椎の下端の文献2より高さで左右の主気管支に分かれるより、選択肢「2」は誤っている。3. 文献3,6より上部気道は主として頭部にあつて、喉頭より上方にある器官がこれに属し、鼻腔とこれに接続している副鼻腔および咽頭からなるより、選択肢「3」は正しい。4. 文献5より右主気管支は左主気管支よりも短くて広い内腔をもつより、選択肢「4」は誤っている。5. 文献5より気管に対して約20度傾斜して走り、そのため右主気管支の経過方向はほとんど気管の走向を引き継いでいる。左主気管支は長くて狭い内腔を持ち、気管に対して約35度傾斜しているより、選択肢「5」は正しい。 <p>解：選択肢「1」「4」と「5」の複数の解が選択できる。</p>	
<p>参考とする文献</p> <ol style="list-style-type: none">1. 野村嶺編者：標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学. 医学書院. p384, 2015.2. 野村嶺編者：標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学. 医学書院. p389, 2015.3. 平田幸男：分冊解剖学アトラスⅡ. 文光堂. p94, 2014.4. 平田幸男：分冊解剖学アトラスⅡ. 文光堂. p98, 2014.5. 平田幸男：分冊解剖学アトラスⅡ. 文光堂. p118, 2014.6. 坂井建雄・大谷 修監訳：プロメテウス解剖学アトラス胸部/腹部・骨盤部. 医学書院. p22, 2015.	

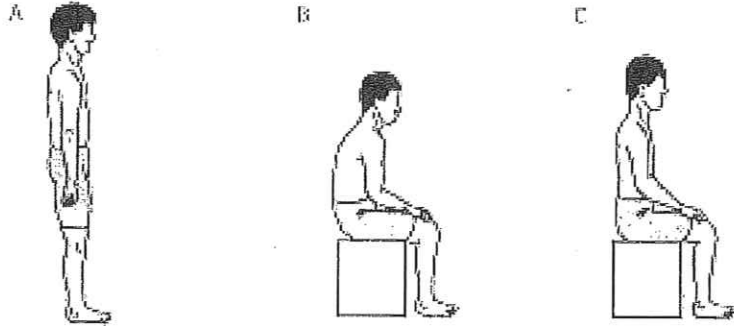
第 54 回作業療法士国家試験問題 採点除外等の取り扱いをすることが望ましいと思われる問題

(平成 31 年 2 月 24 日実施)

午前 問題

問題番号 (73)

73 腰椎への負荷が大きい順に並んでいるのはどれか。



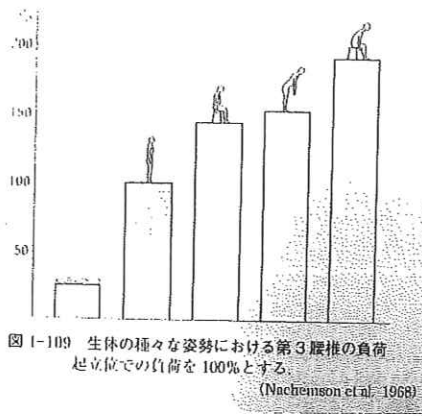
1. $A > B > C$
2. $A > C > B$
3. $B > A > C$
4. $B > C > A$
5. $C > B > A$

解：3、4 (複数の解が選択できる)

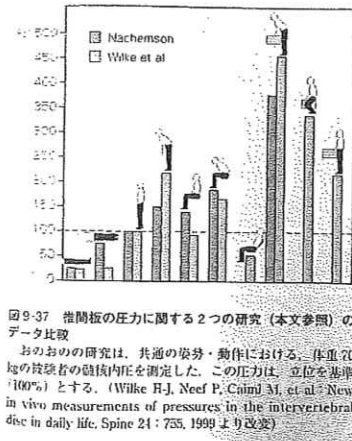
理由

Aは安静立位、Bは前屈座位、Cは直立座位である。
 選択肢「1」、「2」、「5」は誤っている。
 文献1によれば、図4-109より選択肢「4」は正しい。
 文献2によれば、文献1に新たな研究が加わっており、
 図9-37 Wikeの研究では、選択肢「3」が正しい。

解：選択肢「3」と「4」の複数の解が選択できる。



文献 1.



文献 2.

参考とする文献

1. 中村隆一, 齋藤宏, 長崎浩：基礎運動学 第6版. 医歯薬出版. p289, 2013.
2. 嶋田智明, 有馬慶美 監訳：カラー版 筋骨格系のキネシオロジー 原著第2版. 医歯薬出版. p367, 2012.

第 54 回作業療法士国家試験問題 採点除外等の取り扱いをすることが望ましいと思われる問題

(平成 31 年 2 月 24 日実施)

午前 問題	問題番号 (93)
<p>93 細菌の産生する毒素が症状の原因となるのはどれか</p> <ol style="list-style-type: none">1. 赤痢菌2. サルモネラ3. ボツリヌス菌4. カンピロバクター5. 腸管出血性大腸菌 <p>解 : 1、3、5 (複数の解が選択できる)</p>	
<p>理由</p> <p>文献1、2より、選択肢「1」赤痢菌は4種類に分類され、S. dysenteriae (A亜群) の場合に毒素 (志賀毒素) を産生する。 文献2、3より、選択肢「3」ボツリヌス菌はボツリヌス毒素を産生する。 文献1、2より、選択肢「5」腸管出血性大腸菌はベロ毒素を産生し発症する。</p> <p>解 : 選択肢[1]、 「3」 、 「5」 の複数の解が選択できる。</p>	
<p>参考とする文献</p> <ol style="list-style-type: none">1. 中込治, 神谷茂 : 標準微生物学. 医学書院. p208, 2015.2. 病気が見えるvol6免疫・膠原病・感染症. メディックメディア. p216, 2018.3. 前田眞治, 上月雅博, 飯山準一 : 標準理学療法学・作業療法学 内科学第3版. 医学書院. pp329-330, 2013.	

第 54 回作業療法士国家試験問題 採点除外等の取り扱いをすることが望ましいと思われる問題

(平成 31 年 2 月 24 日実施)

午後 問題	問題番号 (68)
<p>68 妊娠、出産で正しいのはどれか。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 受精卵は着床してから分裂を開始する。2. 胎盤は着床前から形成が開始される。3. 妊娠中は、妊婦と胎児の血液の混合が起こる。4. 妊娠中はプロラクチン分泌が抑制されている。5. 分娩が始まるとオキシトシン分泌が減少する。 <p>解：解なし</p>	
<p>理由</p> <ol style="list-style-type: none">1. 文献1より、受精卵はゆっくりと卵管を下行して子宮に向かい、この間に分裂を繰り返すとされており、選択肢「1」は誤っている。2. 文献1より、着床とともに胞胚の周囲を包む栄養膜が分裂増殖して絨毛膜となり、その一部は母体側から形成される脱落膜と合体して胎盤を形成するとされており、選択肢「2」は誤っている。3. 文献2より、胎盤を通してO₂および栄養素が母体から胎児に供給され、老廃物やCO₂が母体側へ排出される。血管の接合部には物質通過の関門が形成され、両者の血液は混合することはないとされており、選択肢「3」は誤っている。4. 文献3より、妊娠時には妊娠15週頃から妊娠の経過とともに分泌が増加するとされており、選択肢「4」は誤っている。5. 文献1より、子宮頸部の拡張刺激によって下垂体後葉からオキシトシンが分泌され、さらに子宮筋の収縮を増強するとされており、選択肢「5」は誤っている。 <p>解：提示された選択肢からは解を選択することができない。</p>	
<p>参考とする文献</p> <ol style="list-style-type: none">1. 岡田隆夫, 鈴木敦子, 長岡正範：標準理学療法・作業療法学 生理学第5版. 医学書院. pp206-210, 2018.2. 大地陸男：生理学テキスト 第8版. 文光堂. p451, 2017.3. 貴邑富久子, 根来英雄：シンプル生理学 改訂第6版. 南江堂. p146, 2010.	

第 54 回作業療法士国家試験問題 採点除外等の取り扱いをすることが望ましいと思われる問題

(平成 31 年 2 月 24 日実施)

午後 問題	問題番号 (73)
<p>73 体幹の伸展かつ右回旋に作用する筋はどれか。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 右最長筋2. 右多裂筋3. 右半棘筋4. 右腰方形筋5. 右内腹斜筋 <p>解：解なし</p>	
<p>理由</p> <p>文献1、2、3より 選択肢「1」の右最長筋は、同側への側屈と、頭最長筋であれば同側への頭の回旋が入るが体幹の回旋には作用しないので誤っている。 選択肢「2」の右多裂筋は、同側への側屈と対側への回旋であり、誤っている。 選択肢「3」の右半棘筋は、同側への側屈と対側への回旋であり、誤っている。 選択肢「4」の右腰方形筋は、同側への側屈であり、誤っている。 選択肢「5」の右内腹斜筋は、同側への回旋作用はあるが体幹の伸展作用はなく、誤っている。</p> <p>解：提示された選択肢からは解を選択することができない。</p>	
<p>参考とする文献</p> <ol style="list-style-type: none">1. 野村巖編集：標準理学療法学・作業療法学 解剖学. 医学書院. p223, 2015.2. 中村隆一, 齋藤 宏, 長崎 浩著：基礎運動学. 医歯薬出版. p282, 2016.3. 嶋田智明, 有馬慶美監訳：筋骨格系のキネシオロジー. 医歯薬出版. p435, 2012.	

第 54 回作業療法士国家試験問題 採点除外等の取り扱いをすることが望ましいと思われる問題

(平成 31 年 2 月 24 日実施)

午後 問題	問題番号 (99)
<p>99 うつ病のリワークプログラムで正しいのはどれか。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 集団療法として位置づけられる。2. 精神科医療機関では実施されない。3. 診断や就労状況などで対象者は限定されない。4. 実施にあたり主治医との情報共有は制限される。5. 急性期からプログラムに参加することが推奨される。 <p>解：解なし</p>	
<p>理由</p> <p>文献1より選択肢「1」は、リワークプログラムは集団に限定されない。一般社団法人日本うつ病リワーク協会HPによると医療リワーク、職業リワーク、職場リワークの分類があり、個人作業や個別での支援も行われているため、誤っている。</p> <p>文献1より選択肢「2」は、医療リワークは精神科医療機関で実施されているため、誤っている。</p> <p>文献2より選択肢「3」は、診断や就労状況などは「対象は休職者」との原則があるため、限定されることから、誤っている。</p> <p>文献1より選択肢「4」は、リワーク実施にあたり主治医との状況共有は限定されないため、誤っている。</p> <p>選択肢「5」は、急性期からは推奨されないため、誤っている。</p> <p>解：提示された選択肢からは解を選択することができない。</p>	
<p>参考とする文献</p> <ol style="list-style-type: none">1. 一般社団法人日本うつ病リワーク協会HP http://utsu-rework.org/rework/index.html2. 早坂友成：精神科作業療法の理論と技術, メディカルビュー社 p276, 2018.	